

I 単元指導計画と評価規準（4 観点）、学習指導案 【科目：家庭基礎】

1 単元・小単元	(1) 人の一生と家族・家庭 力 生涯の生活設計
2 小単元の目標	<p>人は一生を通して、他者や社会など様々な関わりの中で発達することを理解させるとともに、男女が協力して営む家庭生活のあり方や、男女がともに活躍できる社会のあり方について考えさせる。また、現在の自分を見つめるとともに、自分らしく豊かな人生をおくために必要な事は何かを考え、今後の人生の見通しを持たせるとともに、自分の理想のライフプランの実現に向けて主体的に行動ができる力を育てたい。</p>
3 育てたい資質・能力	<p>この単元では、現在の自分を起点に、これからの自分の人生や自分の人生に関わる家族について、社会とのつながりも意識させながら考えさせていく。そのために、多様なライフスタイルや家族の形があることを理解させ、様々な価値観を認める意識を高めさせるとともに、一人一人が自分らしく生きるためにはどのような課題があり、どのような行動が必要なのかを考えさせたい。また、自己肯定感を高め、自分の人生を自分の力で切り拓いていくのだという意欲も高めさせていきたい。</p> <p>タブレットを利用し、情報収集したり、自分の意見を表現したり、互いの考えを共有する学習活動の中で、より深い学びへとつなげていきたい。</p>

<参考文献>

- ・『家庭基礎 自立・共生・創造』 東京書籍 ・『2021 生活学 Navi』 実教出版
- ・『未来の生き方を考える』 岐阜県健康福祉部 子ども・女性局 子育て支援課
- ・『高校生のライフプランニング』 文部科学省
- ・『わたしの未来の拓き方』 広島県教育委員会

4 指導と評価の計画

【単元】人の一生と家族・家庭

主な学習内容	ねらい	学習活動	時間	学習活動における具体的評価規準				評価方法等
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
青年期の課題 目標をもって生きる	○現在の自分を見つめ、青年期の課題である「自立」について考えさせる。	・自立度チェックシートを使用して、現在の自分を振り返り、自分が抱える課題について考える。	2		青年期の課題である自立について理解し、実現に向けての自分の行動を考えている。	自分のなりたい姿をイメージして、マンダラートを作成できる。		ワークシート 定期考査 行種観察
生涯発達の視点	○人の一生を生涯発達の視点でとらえさせ、各ライフステージの特徴と発達課題を理解させる。	・各ライフステージの特徴と発達課題についてまとめ、特徴を理解する。	1				各ライフステージの特徴と発達課題を理解している。	ワークシート 定期考査 行種観察
人生をつくる	○社会の変化に伴った多様なライフスタイルや価値観の変化を理解させる。	・時代と共に変化した様々なライフスタイルや価値観を理解する。	1		変化していく社会や家庭生活の中で、自分に必要な力はどのような力なのか考えている。		時代と共に変化したライフスタイルや人の一生について、資料を確認し、理解している。	ワークシート 定期考査 行種観察
家族・家庭を見つめる (1) 家族・家庭をどう捉えるか (2) 社会の中の家族・家庭	○「家族」とは何かを考え、家族の多様化に気付かせる。また、家族の機能の変化について理解させる。	・家族の多様化や家庭の機能の変化について理解し、自分が将来作りたい家族について考える。	1		自分が将来創りたい家族について考えている。		家庭の機能や現代の家族が抱える様々な問題について理解している。	ワークシート 定期考査 行種観察
(3) 家族と法律	○家族や家庭生活に関する基礎的な法律や現在の動きについて理解させる。	・家族法クイズから家族や家庭生活に関わる法律について理解する。	1	家族や家庭生活に関する法律の変化や課題について関心をもち、考えようとしている。			家族や家庭生活に関わる法律について理解している。	ワークシート 定期考査 行種観察
これからの家庭生活と社会	○男女が協力して家庭を築く重要性を理解させ、家庭生活のあり方について考えさせる。	・家事分担表の作成を通して、男女が協力して家庭生活を営んでいくことについて考える。	1		家族が協力して家庭生活を営んでいくうえで、大切だと思うことについて、夫婦のスケジュール作成を通して考えている。			ワークシート 定期考査 行種観察
	○男女共同参画社会の実現に向けて、自分の言動を振り返るとともに、よりよい社会の在り方について考えさせる。	・様々な事例をもとに自分の言動を振り返り、よりよい社会の在り方を考える。	1		一人一人の個性を大切にされた社会の在り方と、その中で自分の責任ある言動について考えている。			ワークシート 定期考査 行種観察
	○ワークライフバランス推進企業で働く方の話を聞き、自分の将来について具体的にイメージをもたせる。	・ワークライフバランス実現の為に企業の取り組みを知り、自分の将来の職業生活や家庭生活をイメージする。	1	講師の話をもとに自分の将来に照らし合わせて、関心をもって聞こうとしている。	ワークライフバランスに対する企業の取り組みについて知り、自分の将来に活かそうと考えている。			ワークシート 行種観察
生活を設計する	○ライフプランを実現させるために必要なことを考えさせる。	・ストーリーシートをもとにライフプランニングをするにあたって必要なことは何かを考える。	1		ライフプラン実現のために必要なことは何か考えている。	資料などの情報を活用し、ライフプランの課題や解決法についてまとめている。		ワークシート 行種観察
	○自分の目指すライフスタイルを考えてライフプランを作成させる。	・ライフプランを作成し、その後アクションプランを記入しこれからの行動について考える。	1			自分が目指す家庭生活や職業生活を実現するための、将来のライフプランを作成できる。		ワークシート ライフプランシート 行種観察
総時間数			11					

5 学習指導案

科目名	家庭基礎	指導クラス	1年	使用教科書	家庭基礎 自立・共生・創造(東京書籍)
単元名	第9章 生活を設計する				
本時の主題	1 生活設計とは (1/2時間)				
指導観	自分らしい生き方が認められる社会の中では、一人一人が自分の価値観のもと情報を取捨選択し意思決定をする能力が求められる。しかし、人生には様々な要素が複雑に絡み合っており、高校生の生徒にとっては、想像しにくいことも多い。そこで本時は具体的な事例をもとに、ライフプランを実現させるためには様々な課題があることを理解させるとともに、ライフプランを実現させるために必要なことは何かを考えさせたい。				
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> 資料や情報を活用し、事例のライフプランやその課題解決について考え、まとめる。 ライフプランを実現させるためには、どのようなことを考え、行動していかなくてはならないかを考える。 				
過程	指導内容	生徒の学習活動	評価について	教師の指導	
導入	本時の目標の確認(2分)	・本時の目標の確認をする。		・本時の目標を確認させる。	
展	ライフプランと価値観について(5分)	1 前時までの学習内容を振り返り、自分らしい人生を送るためには自分の価値観や意思決定が大きく関わることを確認する。	<p>評価規準【技能】 資料などの情報を活用し、ライフプランの課題や解決法についてまとめている。</p> <p><評価方法>ワークシート</p> <p><Aの例> 事例の人物をイメージし、資料を的確に読み取り、情報を活用して問題解決について考え、まとめることができている。</p>	<p>・本時の流れを理解させる。</p> <p><Bを実現させるための指導> ・資料を見るポイントを具体的に示す。机間巡視しながら助言して行く。 <Cへの手立て> ・他の生徒の発表などから考えさせる。</p>	
	ストーリーシート紹介(5分)	2 ストーリーシートのプロフィールを確認し様々な生き方があることを理解する。			
	ストーリーシートの読み取りと解決法(15分)	3 各自が担当する人物のストーリーシートを読み、それぞれのライフプラン、それに伴う課題や悩みを読み取り、解決方法について考え、まとめる。(MetaMoJi グループ学習使用)			
	意見交流(5分)	<p>○予想される生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれのプロフィールや資料から、人物が考えているライフプランや悩みを読み取り、まとめる。人物の背景にあった解決方法を考え、まとめたりする。 			
開	ライフプラン実現に必要なこと(10分)	<p>4 まとめたことを共有する。(グループ内→クラス全体)</p> <p>5 思い描くライフプランを実現させるために、必要な力や行動は何かを考える。(MetaMoJi 個別学習ページ使用)</p> <p>○予想される生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の人生の計画を具体的に立てる。 自分が実現したいことの課題についてきちんと調べる。 周りの人と良い人間関係を築く。 経済的な安定が必要。 	<p>評価規準【思考・判断・表現】 ライフプラン実現のために必要なことは何か考えている。</p> <p><評価方法>ワークシート</p> <p><Aの例> ライフプランを実現させるためには、どのような力や行動が必要か、具体的に考えている。</p>	<p><Bを実現させるための指導> ・意見交流で出てきたことを再確認させる。 <Cへの手立て> ・机間指導で声掛けする。 ・他の生徒の発表などから考えさせる。</p>	
	意見交流(5分)	6 まとめたことを共有する。			
まとめ	本時のまとめ(3分)	・本時の自己評価をする。		本時のまとめをする。	

□工夫している点

<ul style="list-style-type: none"> ストーリーシートで様々なシチュエーションの人物のライフプランを取り上げることで多様な生き方があることを示す。 MetaMoJiのグループ学習ページや個人学習ページを使い分け、各自のまとめを効率よくグループやクラス全体で共有できるようにする。 自分の意見をまとめたり、グループやクラス内で意見交流を行うことで、より深い学びへつながるようにする。

□評価規準

	学習活動における具体的評価規準 (B)	「十分満足できる」と判断される状況 (A)	「努力を要する」と判断される状況 (C)
評価	事例の人物について、資料などの情報を活用し、ライフプランの課題や解決法についてまとめている。	事例の人物をイメージし資料を的確に読み取り、情報を活用して問題解決について考えまとめることができている。	事例の人物について、資料の読み取りができていない。問題解決について考えていない。
生徒の状況	ストーリーシートの情報を活用し、課題や解決法をまとめたが、資料の読み取りがやや不足する生徒がいた。 (37%)	半数以上の生徒が事例の人物のライフプランや課題を理解し、社会や人の関わりを含め、問題解決について考え、まとめることができた。(57%)	事例の人物についての理解が不十分で、問題解決法が浮かんでいない。まとめることができていない生徒がいた。 (6%)
記述例 ※スペースに収まらないため要約	<p>Aさん 不妊治療に伴う課題について理解し、解決法について記述ができています。</p> <p>Bさん 地方移住に伴う課題について理解し解決法について記述ができています。</p> <p>Cさん 中年以降の転職に伴う課題について理解し解決法について記述ができています。</p> <p>Dさん 男性の育休取得に伴う課題について理解し解決法について記述ができています。</p>	<p>Aさん 不妊治療の課題について十分理解し、仕事との両立、教育費の問題も関連付け、解決策を具体的に考え記述できている。</p> <p>Bさん 地方移住の課題について十分理解し、地方での暮らしの課題と家族の生活を関連付け、解決策を具体的に考え記述できている。</p> <p>Cさん 転職の課題について十分理解し、働きながら転職することや費用の問題にも関連付け、解決策を具体的に考え記述できている。</p> <p>Dさん 男性の育休取得の課題について十分理解し、制度や周囲の理解に関連付け、解決策を具体的に考え記述できている。</p>	記述が途中。考えていない。

	学習活動における具体的評価規準 (B)	「十分満足できる」と判断される状況 (A)	「努力を要する」と判断される状況 (C)
評価	ライフプラン実現のために必要なことは何か考えている。	ライフプランを実現させるためには、どのような力や行動が必要か、具体的に考えている。	ライフプラン実現のために必要な事について考えていない。
生徒の状況	ライフプラン実現のために必要な行動について考えてはいるが、社会や家族との関わりについて記述が不十分な生徒がいた。 (41%)	多くの生徒がライフプラン実現に向けて、自分の事として考え、将来を具体的にイメージしながら必要な行動を考えていた。 (56%)	時間が足りず、記述ができていない生徒がいた。 (3%)
記述例	<ul style="list-style-type: none"> ・計画性を持ち、自分が何をしたいのか、考えたり調べたりする。 ・目標をきちんと立てる。そのために何が必要で何をしなくてはいけないか整理する。 ・まずは、きちんと就職して生活の基盤を整える。そのために、しっかり勉強し希望の進路をかなえていく。 ・夢をかなえるためにはお金も必要。きちんと就職するために、今からしっかり勉強したり資格を取ったりしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が実現させたいライフプランを明確にして必要な情報を集め、きちんと計画を立てることが大切。相談できる場所や国の支援を知っておくことが大切。積極的な行動も必要。 ・家族やパートナーと話し合うことが大切。話し合いの機会を作って、自分の主張もしつつ、相手の意見も尊重し、お互いのしたいことを応援できるような環境を作ることが大切。 	・未記入

□授業後の課題と改善

- ・ストーリーシートの考察は、グループ内で担当を一人一人に割り振ったことで、各自が責任をもって資料の読み取り、まとめ、共有まで取り組めた。
- ・今まで学習した内容も含めた、様々な背景を持った人物のストーリーシートは、生徒に多様な生き方があることを理解させるとともに、イメージしやすく、取り組みやすかったのではないかと。多くの生徒が、人物の生活課題を理解し、解決のための行動について考えることができた。
- ・生徒はタブレット操作がスムーズに行えており、MetaMoJiの個別学習ノート、グループ学習ノートを効率よく使えた。MetaMoJiのグループ学習ノートは、4人で1枚のシートを完成させることで、短時間で互いのまとめや考えを共有することができた。
- ・時間がやや不足した。2時間続きなどになると、様々な4人の生活課題についてもっと掘り下げ、社会の課題やそれを支える制度などについても関連付けて学ばせることができるかもしれない。